

島田小学校だより

さわやか

令和2年（2020年）

8月7日 №8

豊中市立島田小学校

校長 竹本 和哉

いよいよ夏休みがはじまります。

本日、1学期の終業式をむかえました。この間、保護者の皆様には、本校の学校教育活動に、いつもご理解、ご協力をいただきながら1学期を終えることができました。誠にありがとうございました。

思い起こせば、3月からの臨時休校にはじまり、4月の入学式は何とか実施することができました。しかし、翌日から再び休校。学校再開が6月からになるなど、異例づくめの1学期となりました。子どもたちとの出会いに、私自身、はじめはドキドキしましたが、毎朝校門で出迎えたり、教室をのぞいたりする中で、少しずつ子どもたちとの距離が縮まってきた感じがします。

今年は、新しい教職員も多く、子どもたちも初めての出会いに最初は緊張していたようですが、今ではすっかり慣れてきて新しい先生とも、たくさん会話をしている姿をあちらこちらでみかけるようになりました。あらためて、学校は、子どもたちがいて成り立っているものだと感じた1学期でした。

いよいよ、明日から夏休みがはじまります。今年は、短い夏休みとなりますが、子どもたちにとって、思い出に残る夏休みになればいいですね。

非行防止教室（5年生）

8月4日（火）2時間目 非行防止教室が5年1組で行われました。

豊中少年サポートセンターの講師から、非行（万引き、夜遊び、暴力、言葉の暴力、喫煙）のことについて分りやすく説明していただきました。また、万引きをするとどうなるのか、ペープサートを用いて、ジャンプ君（5年生）の心の中を描きながら見せていただきました。時折、講師の先生から意見を求められる場面がありましたが、たくさんの意見が出て、深く考えることができました。



最後に、まとめとして、みなさんに守ってほしいこととして次の5つを教えてもらいました。

1. ルールは守る！
2. 犯罪は絶対にしない！
3. 犯罪は手伝わない！
4. 思いやりの心を持つ
5. 断る勇気を持つ

これから夏休みに入ります。いろいろな誘いがあるかもしれませんが、5年生だけではなく、他の学年のみなさんも、正しい行動がとれるようにしましょう。

平和集会（全学年）

8月6日（木）8：30～ 全学年を対象として平和集会を行いました。例年であれば、夏休みですが今年は、まさに、広島に原爆が落とされたその日でした。内容は、以下の通りです。

①校長からの話

子どもたちに向けてどのような話をしようか、いろいろ考えていましたが、8月6日の朝、広島で何があったのか、当日の朝の様子を話してみました。最後には1年生～4年生までの子どもたちには、「**自分のまわりの人たちと、なかよくするためには、何をすればよいと思うか。**」5年生・6年生には、「**世界から戦争をなくすには、どうすればよいのか。**」となげかけました。意見があれば校長室までと言ったところ、たくさんの子供たちから意見をもらいました。ひとりひとりの意見をしっかり読ませてもらいます。

②黙とう 1分間黙とうをしました。

③「青い空は」合唱

合唱は、これまで音楽の時間を使って、各クラスで練習をしてきました。大きな声で歌うことは難しい状況ですが、ひとりひとりが心を込めて歌うことができました。

④6年生から、折り鶴について

最後に、6年生が各クラスに出向き、2歳で被爆し、その後白血病にかかり、病とたたかい続けた佐々木禎子さんの話を伝えてくれました。さだ子さんが亡くなるまで折り続けた折り鶴への思いを伝えながら、全校一同、折り鶴を折りました。みなさんが思いをこめて折った折り鶴は、このあと広島に送ります。

気をつけてください！

ここ数週間で、豊中市でも新型コロナウイルスの感染者の方が増え、市内の小中学校においても、感染者が確認されています。現在、国や自治体では、「GO TO キャンペーン」や「休業要請」など、方針がバラバラで、どのように行動すればよいかわかりにくいところがあります。今年は短い夏休みになってしまいましたが、各ご家庭におかれましては、感染に気をつけながら、楽しい夏休みをお過ごしください。2学期始業式に、元気な子どもたちと会えることを楽しみにしています。保護者の皆様におかれましては、この1学期、いろいろ面で学校を支えていただき本当にありがとうございました。2学期以降も、引き続きよろしくお願いいたします。